

# METHOD AND SYSTEM FOR LINKING INFORMATION OF WEB SITE AND RECORDING MEDIUM THEREOF

**Publication number:** JP2001306622 (A)

**Publication date:** 2001-11-02

**Inventor(s):** SAITO MASAHIRO

**Applicant(s):** FIVE ANY INC

**Classification:**

- **International:** G06F17/30; G06F17/30; (IPC1-7): G06F17/30

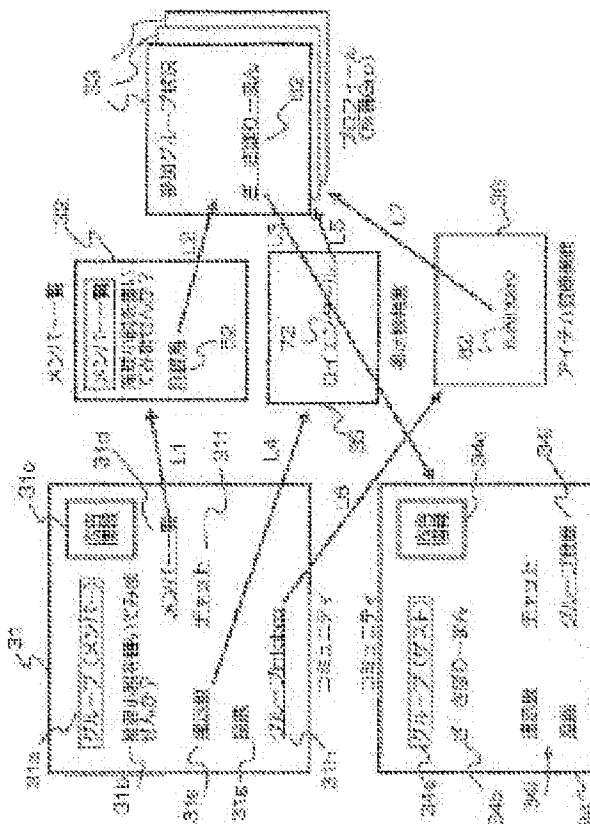
- **European:**

**Application number:** JP20000120074 20000420

**Priority number(s):** JP20000120074 20000420

## Abstract of JP 2001306622 (A)

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide an information linking method for a web site which enables each user to easily obtain more information relating other users in a function of an electronic bulletin board, a chat, etc., at the web site and increase the access frequency and access time of users at a specific web site. **SOLUTION:** In an entrance page 31 of each group, function tables 31c, 31f, 31g, and 31h that member of a site can participate in are displayed and information browsing pages 35 and 36 of each function, pieces of information 72 and 82 corresponding to the names of members participating in the function are displayed. When the pieces 72 and 82 of information corresponding to the displayed member names are selected, list pages 33 and 33 of the groups that the member belong to are displayed, and when a specific group is selected out of the groups displayed in the list pages 33 and 33, the entrance page (34) of the group is displayed.



Data supplied from the **esp@cenet** database — Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-306622

(P2001-306622A)

(43)公開日 平成13年11月2日(2001.11.2)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 17/30	4 1 9	G 0 6 F 17/30	4 1 9 B 5 B 0 7 5

審査請求 未請求 請求項の数8 O L (全 13 頁)

(21)出願番号 特願2000-120074(P2000-120074)

(22)出願日 平成12年4月20日(2000.4.20)

(71)出願人 500519068

株式会社ファイブエニー

東京都千代田区五番町六番地二

(72)発明者 斎藤 正秀

東京都千代田区大手町1丁目5番4号 大

手町フィナンシャルセンター17階 株式会

社ジェイサイド・ドット・コム内

(74)代理人 100086379

弁理士 高柴 忠夫 (外1名)

Fターム(参考) 5B075 KK07 ND20 NK02 NK44 PP02

PP03 PP12 PP22 PQ02 PQ42

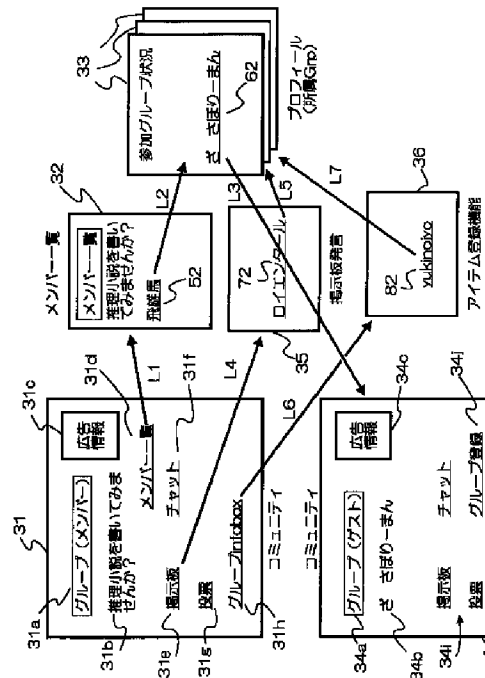
PR08 UU24 UU40

(54)【発明の名称】 ウェブサイトの情報リンク方法及びシステム、並びにその記録媒体

## (57)【要約】

【課題】ウェブサイトにおいて電子掲示板、チャット等の機能において、各ユーザーが他のユーザーに関連するより多くの情報を容易に入手可能とするとともに、特定のウェブサイトにおけるユーザによるアクセス数やアクセス時間を増加させるウェブサイトの情報リンク方法を提供する。

【解決手段】 各グループの入口ページ31にサイトの各会員が参加可能な機能一覧31c、31f、31g、31hを表示し、各機能による情報閲覧ページ35、36にその機能に参加している会員名に対応する情報72、82を表示し、表示された会員名に対応する情報72、82が選択されたときその会員が所属するグループの一覧ページ33、33を表示し、一覧ページ33、33で表示されたグループから所定のグループが選択されたときにそのグループの入口ページ(34相当)を表示するウェブサイトの情報リンク方法である。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 それぞれ1又は複数のメンバーを構成員とするものであって、複数のカテゴリーに分類された複数のグループに係る情報をグループ単位で提供するウェブサイトにおける各グループ間の情報リンク方法であって、

各グループで利用可能な1又は複数の情報提供形態を示す情報を当該グループに対応する選択可能な第1の表示情報として提供する第1の過程と、

前記第1の表示情報に対応して選択された形態によって提供する情報を、当該提供情報に対応するメンバーの選択可能な識別情報とともに提供する第2の過程と、

前記メンバーの識別情報が選択されたときに、当該メンバーが構成員となっている他のグループを示す情報を選択可能な情報として提供する第3の過程と、

前記第3の過程で提供された情報に対応して選択された他のグループにおいて利用可能な1又は複数の情報提供形態を示す情報を当該グループに対応する選択可能な第2の表示情報として提供する第4の過程とを有することを特徴とするウェブサイトの情報リンク方法。

【請求項2】 サイト会員が所属するグループに係る情報をグループ単位で提供するウェブサイトにおける各グループ間の情報リンク方法であって、

各グループの入口ページに各会員が参加可能な機能一覧を表示する第1の過程と、

前記機能による情報閲覧ページに該機能に参加している会員名に対応する情報を表示する第2の過程と、

表示された会員名に対応する情報が選択されたとき当該会員が所属するグループの一覧ページを表示する第3の過程と、

前記一覧ページで表示されたグループから所定のグループが選択されたときにそのグループの入口ページを表示する第4の過程とを有することを特徴とするウェブサイトの情報リンク方法。

【請求項3】 前記機能が、電子掲示板、チャットのいずれかであることを特徴とする請求項2記載のウェブサイトの情報リンク方法。

【請求項4】 前記各機能の閲覧ページへのアクセス数をカウントする過程をさらに有することを特徴とする請求項2又は3記載のウェブサイトの情報リンク方法。

【請求項5】 前記各機能の閲覧ページへのアクセス数に応じて当該ページへ広告を割り当てることを特徴とする請求項4記載のウェブサイトの情報リンク方法。

【請求項6】 それぞれ1又は複数のメンバーを構成員とするものであって、複数のカテゴリーに分類された複数のグループに係る情報をグループ単位で提供するウェブサイトにおける各グループ間の情報リンクシステムであって、

各グループで利用可能な1又は複数の情報提供形態を示す情報を当該グループに対応する選択可能な第1の表示

情報として提供する第1の手段と、

第1の表示情報に対応して選択された形態によって提供する情報を、当該提供情報に対応するメンバーの選択可能な識別情報とともに提供する第2の手段と、

前記メンバーの識別情報が選択されたときに、当該メンバーが構成員となっている他のグループを示す情報を選択可能な情報として提供する第3の手段と、

前記第3の手段によって提供された情報に対応して選択された他のグループにおいて利用可能な1又は複数の情報提供形態を示す情報を当該グループに対応する選択可能な第2の表示情報として提供する第4の手段とを備えることを特徴とするウェブサイトの情報リンクシステム。

【請求項7】 サイト会員が所属するグループに係る情報をグループ単位で提供するウェブサイトにおける各グループ間の情報リンクシステムであって、

各グループの入口ページに各会員が参加可能な機能一覧を表示する第1の手段と、

前記機能による情報閲覧ページに該機能に参加している会員名に対応する情報を表示する第2の手段と、

表示された会員名に対応する情報が選択されたとき当該会員が所属するグループの一覧ページを表示する第3の手段と、

前記一覧ページで表示されたグループから所定のグループが選択されたときにそのグループの入口ページを表示する第4の手段とを備えることを特徴とするウェブサイトの情報リンクシステム。

【請求項8】 サイト会員が所属するグループに係る情報をグループ単位で提供するウェブサイトにおける各グループ間の情報リンク方法のコンピュータプログラムを記録した記録媒体であって、

各グループの入口ページに各会員が参加可能な機能一覧を表示する第1のステップと、

前記機能による情報閲覧ページに該機能に参加している会員名に対応する情報を表示する第2のステップと、表示された会員名に対応する情報が選択されたとき当該会員が所属するグループの一覧ページを表示する第3のステップと、

前記一覧ページで表示されたグループから所定のグループが選択されたときにそのグループの入口ページを表示する第4のステップとを有することを特徴とするウェブサイトの情報リンク方法のコンピュータプログラムを記録してあることを特徴とする記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ネットワーク内のサイトにおいて当該サイトがネットワークを介して提供する複数の情報間をリンクする際に用いて好適なウェブサイトの情報リンク方法及びシステムに関する。

【0002】

【0003】

【0004】

【0005】

【従来の技術】インターネット等のネットワークにおいて複数のユーザ間でメッセージを交換するための従来の通信手段には、電子メール、ネットニュース（電子掲示板あるいはBBS（Bulletin Board System））、チャット等がある。電子メールシステムは、相手を指定してメッセージを送信するものであって、通常、特定の相手との間でメッセージを交換する際に用いられている。電子掲示板は、ネットワーク内のホストコンピュータ（ウェブサイト）を掲示板とみなしてクライアント側（ユーザ側）の端末から各種メッセージを書き込んだり、読み出しすることでメッセージを交換するものであって、一般に、不特定多数を相手にメッセージを交換するために使用されている。また、チャットはウェブサイトを利用して同時にアクセスしているユーザがリアルタイムに文字メッセージを交換するものであって、同時に複数の相手との会話が可能となっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、上述したような従来の電子掲示板システムは、メッセージ交換を行う情報の分野ごとに分類されて使用されていることが多い。そのため、各電子掲示板内でメッセージ交換を行う話題は、特定の分野に限定されている場合が多い。例えば、ある電子掲示板において、その電子掲示板が対象とする分野以外の項目について、特定の発言者がどのような関心を持っているか、というようなことを確認しようとした場合、その電子掲示板内でメッセージ交換を行って確認することが適切でない場合が考えられる。このような場合には、例えば、その発言者との間で直接、電子メールを用いてメッセージ交換を行うことで、本人から情報を得ることが考えられる。しかしながら、電子メールシステムは、公開された電子掲示板と異なり、より非公開でかつ直接的な傾向が強い通信手段であるため、簡単に使用することを好まない利用者も多かった。

【0004】一方、商用を目的としたウェブサイトでは、電子掲示板やチャット機能を無料でユーザーに対して提供するとともに、電子掲示板を利用するためのウェブページやチャットのページ上に例えばバナー広告という形態で広告情報を掲載することによって、広告収入によって利益を得ているものがある。このようなウェブサイトでは、広告額を計算基準として、バナー広告に併設されているリンク先へのリンク回数のほか、広告掲載ページ自体のアクセス数、利用時間等を用いているものがある。一般にWWW（ワールドワイドウェブ）のホームページでは、そのページの表示情報に関連して他のページに対してリンクを設けるというハイパーリンクという関連情報に対する検索のための手段が提供されている。しかしながら、電子掲示板やチャット機能を利用するためのページでは、そのページで交換される情報（メッセージあるいはコメント）に関連して他のページに対してリンクを設けることは行われていなかった。そのため、

従来は、広告収入を増加させるために、電子掲示板やチャット機能を提供する各ページの使い勝手をよりよくしたり、あるいは、各電子掲示板やチャット機能の分類方法をよりわかりやすくすることで、アクセス数やアクセス時間を増加させることが試みられていた。

【0005】本発明は、上記の事情を考慮し、ウェブサイトにおいて電子掲示板、チャット等の複数ユーザ間で情報を交換するための通信手段を提供するに際し、従来に比べ、各ユーザーが他のユーザーに関連するより多くの情報を容易に入手可能とするとともに、特定のウェブサイトにおけるユーザによるアクセス数やアクセス時間を増加させることができるウェブサイトの情報リンク方法及びシステムを提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、請求項1記載の発明は、それぞれ1又は複数のメンバーを構成員とするものであって、複数のカテゴリーに分類された複数のグループに係る情報をグループ単位で提供するウェブサイトにおける各グループ間の情報リンク方法であって、各グループで利用可能な1又は複数の情報提供形態を示す情報を当該グループに対応する選択可能な第1の表示情報として提供する第1の過程と、第1の表示情報に対応して選択された形態によって提供する情報を、当該提供情報に対応するメンバーの選択可能な識別情報とともに提供する第2の過程と、前記メンバーの識別情報が選択されたときに、当該メンバーが構成員となっている他のグループを示す情報を選択可能な情報として提供する第3の過程と、前記第3の過程で提供された情報に対応して選択された他のグループにおいて利用可能な1又は複数の情報提供形態を示す情報を当該グループに対応する選択可能な第2の表示情報として提供する第4の過程とを有することを特徴とする。

【0007】請求項2記載の発明は、サイト会員が所属するグループに係る情報をグループ単位で提供するウェブサイトにおける各グループ間の情報リンク方法であって、各グループの入口ページに各会員が参加可能な機能一覧を表示する第1の過程と、前記機能による情報閲覧ページに該機能に参加している会員名に対応する情報を表示する第2の過程と、表示された会員名に対応する情報が選択されたとき当該会員が所属するグループの一覧ページを表示する第3の過程と、前記一覧ページで表示されたグループから所定のグループが選択されたときにそのグループの入口ページを表示する第4の過程とを有することを特徴とする。請求項3記載の発明は、前記機能が、電子掲示板、チャットのいずれかであることを特徴とする。請求項4記載の発明は、前記各機能の閲覧ページへのアクセス数をカウントする過程をさらに有することを特徴とする。請求項5記載の発明は、前記各機能の閲覧ページへのアクセス数に応じて当該ページへ広告を割り当てることを特徴とする。

【0008】請求項6記載の発明は、それぞれ1又は複数のメンバーを構成員とするものであって、複数のカテゴリーに分類された複数のグループに係る情報をグループ単位で提供するウェブサイトにおける各グループ間の情報リンクシステムであって、各グループで利用可能な1又は複数の情報提供形態を示す情報を当該グループに対応する選択可能な第1の表示情報として提供する第1の手段と、第1の表示情報に対応して選択された形態によって提供する情報を、当該提供情報に対応するメンバーの選択可能な識別情報とともに提供する第2の手段と、前記メンバーの識別情報が選択されたときに、当該メンバーが構成員となっている他のグループを示す情報を選択可能な情報として提供する第3の手段と、前記第3の手段によって提供された情報に対応して選択された他のグループにおいて利用可能な1又は複数の情報提供形態を示す情報を当該グループに対応する選択可能な第2の表示情報として提供する第4の手段とを備えることを特徴とする。請求項7記載の発明は、サイト会員が所属するグループに係る情報をグループ単位で提供するウェブサイトにおける各グループ間の情報リンクシステムであって、各グループの入口ページに各会員が参加可能な機能一覧を表示する第1の手段と、前記機能による情報閲覧ページに該機能に参加している会員名に対応する情報を表示する第2の手段と、表示された会員名に対応する情報が選択されたとき当該会員が所属するグループの一覧ページを表示する第3の手段と、前記一覧ページで表示されたグループから所定のグループが選択されたときにそのグループの入口ページを表示する第4の手段とを備えることを特徴とする。請求項8記載の発明は、前記情報リンク方法のコンピュータプログラムを記録した記録媒体であって、各グループの入口ページに各会員が参加可能な機能一覧を表示する第1のステップと、前記機能による情報閲覧ページに該機能に参加している会員名に対応する情報を表示する第2のステップと、表示された会員名に対応する情報が選択されたとき当該会員が所属するグループの一覧ページを表示する第3のステップと、前記一覧ページで表示されたグループから所定のグループが選択されたときにそのグループの入口ページを表示する第4のステップとを有するコンピュータプログラムを記録してあることを特徴とする。

【0009】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明によるウェブサイトシステムの実施の形態について説明する。図1は、本発明によるウェブサイト1をサーバとし、PHS（パーソナルハンディホンシステム）、携帯電話等の移動体通信端末等から構成されている複数の携帯端末2、2、…、あるいはコンピュータや情報表示端末等を含んで構成されている複数の加入者端末3、3、3、…をクライアントとするネットワークシステムの構成を示すブロック図である。携帯端末2は、移動体通信

網200を介して、インターネット100内のウェブサイト1を含む任意のウェブサイトにアクセス可能となっている。加入者端末3は、公衆通信網300を介して、直接あるいはさらにインターネットサービスプロバイダ4を介して、ウェブサイト1を含む任意のウェブサイトにアクセス可能となっている。

【0010】なお、本発明によるウェブサイト1が適用可能なネットワークシステムの構成は図1に示すようなものに限定されることなく、例えば、インターネット100に代えて、パソコン通信、ネットワーク通信等の、インターネット等の外部のネットワークからのアクセスに一定の制限を設けるようなネットワークであってもよい。また、本発明によるウェブサイト1は、単一のURL（Uniform Resource Locator）等のネットワークアドレスでアドレスが指定される単一のウェブサイトとして構成しても良いし、複数のネットワークアドレスを有したりあるいは、分散されてサーバ用のコンピュータやデータベースが設置されたサーバシステムとして構成してもよい。

【0011】図2は、図1に示すウェブサイト1によって実現される機能および各機能間の情報の流れを示すシステムフロー図である。本実施形態のウェブサイト1は、電子掲示板、チャット等の機能を提供する所定のホームページ（webページ）を格納し、図1に示す携帯端末2あるいは加入者端末3を用いてウェブサイト1にアクセスする各ユーザ20毎に、ウェブサイト1が提供する電子掲示板、チャット等の機能の利用状況を、記録・管理する機能を有している。すなわち、各ユーザ20毎に各ユーザに対応する所定のデータを記録管理するためのデータベース（DB）11を有しており、そのため各ユーザーの識別情報（すなわち各個人を特定するための情報）となるニックネームと、そのニックネームを用いてアクセスを行う際に認証情報として利用するパスワードとの登録を、会員登録として利用に先立ってDB11に登録するようにしている（S11）。会員登録が終了したユーザ20（登録会員と呼ぶ）は、以後、登録したニックネームをログインID（Identification）として、所定の認証処理（パスワードを入力するログイン処理）を行うことで、ウェブサイト1が提供する各機能にアクセス可能となるようにしている（S12）。ただし、ウェブサイト1では、会員登録を行っていないユーザであっても電子掲示板やチャット等の各機能に対して、書き込みはできないものの、読み込み、すなわち閲覧ができるようにする機能を提供している（S13）。

【0012】ウェブサイト1では、提供する各機能をグループを単位として扱っている。各グループには、1または複数の会員登録後のユーザが、各グループの構成員として参加することが可能であり、参加するユーザはグループ毎に登録処理を行うものとする。各グループは、登録会員が自由に作成可能である、また、各グループは

あらかじめ定めたカテゴリー毎に分類されて管理される。グループを作成する際にはユーザーによって1または複数のキーワードを登録可能であり、各グループの入り口ページあるいは各グループが提供する各機能にはカテゴリーとキーワードを選択することでアクセスできるようになっている。ここでカテゴリーとは、グループが所属している分野をいい、各グループは全て、カテゴリー別（例えば、野球、テニス、健康、語学等）に分類されている。また、キーワードとは、グループの特徴を表すグループ選択のための指標であり、ウェブサイト1内の所定の検索機能を用いて、他のユーザが検索を行なうことにより当該グループを見出すことができるようになっている。

【0013】ウェブサイト1で上述したグループを新規に登録する際には、新規グループ登録テンプレート12で決められた入力情報が、ユーザ20側の端末で稼働するWWWブラウザ等のアプリケーション上で表示されるようになっている。新規グループ登録テンプレート12は、グループ名、キーワード等の複数の情報a、b、c、…をグループ名に対応して登録するための定型のデータフォーマットである。グループの新規登録の際には、グループの所属情報、グループ作成者（グループマスターと呼ぶ）固有の個人情報の登録が可能であり、また、グループ内の各機能（情報）のグループメンバー以外への公開・非公開を設定可能となっている。

【0014】ここで、図9および図10を参照して新規グループ登録テンプレート12の具体例を説明する。図9および図10は、ユーザ側のWWWブラウザ上で表示した場合の連続した1つのウェブページを分割して示している。新規グループ登録テンプレート12には、グループ設定の基本的な条件である項目として（図9参照）、グループ名を入力するためのテキストボックス91と、グループメンバー以外にグループを公開するかどうかを選択するための1対のラジオボタン（オプションボタン）92と、非公開に設定した場合にそのグループにアクセスする際に入力するパスワードを設定するためのテキストボックス93と、テキストボックス93に入力されたパスワードを確認するためのテキストボックス94とが設けられている。さらに、基本的条件として、男女制限（女性限定、男性限定、制限なし）を設定するための1組のラジオボタン95と、グループを検索する際に使用される検索キーワードを3つ入力するためのテキストボックス96a、96b、96cと、ウェブサイト1全体であらかじめ設定されている複数のカテゴリーのうちのどのカテゴリーへの所属を希望するかということを入力するための3つのリストボックス97a、97b、97cとが設けられている。

【0015】さらに、図10に示すように、新規グループ登録テンプレート12には、グループで使用できるツール（機能）を選択するために、掲示板の使用を選択す

るためのチェックボックス101と、掲示板機能のグループメンバー以外への公開・非公開を設定するための1対のラジオボタン102と、チャットの使用を選択するためのチェックボックス103と、チャット機能のグループメンバー以外への公開・非公開を設定するための1対のラジオボタン104と、スケジュール機能の使用を選択するためのチェックボックス105と、スケジュール機能のグループメンバー以外への公開・非公開を設定するための1対のラジオボタン106と、グループInfobox（情報箱）の使用を選択するためのチェックボックス107と、グループInfoboxのグループメンバー以外への公開・非公開を設定するための1対のラジオボタン108と、投票機能の使用を選択するためのチェックボックス109とが設けられている。

【0016】上記の各ツール（機能）のうち、スケジュール機能とは、日時、時間等に対応づけて未来および過去のイベント（事象）を記録・管理するための機能であって、この機能によって、例えば、そのグループおよびグループのメンバーに関係する行動予定、過去の行動履歴等の情報をグループのメンバーで共有することができる。グループInfoboxとは、グループ用データベース作成機能であって、自由なテーマでグループ単位のデータベースを作成し、情報共有を可能とするものである。投票機能とは、グループ単位の投票受付機能であって、自由に設定したテーマに対してあらかじめ複数の投票項目（選択肢）を設定し、グループのメンバーが投票項目を選択して投票動作（WWWブラウザ上のボタンのクリック等）を行うことで、項目毎に投票数のカウントされ、投票を開始してから一定期間後に、中間発表、最終発表等の結果を各選択肢の支持率として見ることができるようにする機能である。投票の内容については、グループ作成後に、所定の別ページで設定する。

【0017】図10では、さらに上記ツール選択欄の下に、グループのPR（public relations）を設定するためのテキストボックス110と、コメントを設定するためのテキストボックス111とが設けられている。そして、各項目の設定終了後に、入力内容を確定するための「OK」ボタン112と、登録を行わずに処理を中断する場合にユーザーがクリックするための「キャンセル」ボタン113が設けられている。この「OK」ボタン111をクリックすることで、各項目の設定内容を反映した新規のグループが登録されることになる。

【0018】図2において、新規グループ登録テンプレート12を用いて登録された新たなグループ（ここではグループXとする）に関する情報121（情報a、b、c、…）は、グループ群情報（第1の表示情報）13として、すでに作成済みの他のグループA、B、C、…に関する情報とともに、所定のデータベースにおいてカテゴリー毎に分類されて記録・管理される。グループ群情報13内で各グループ単位で逐次更新されて管理される

10

20

30

40

50

情報としては、例えば、掲示板、チャット等の各ツールに関連する情報（各ツールによって交換・記録される情報であってグループXに関する情報13Xではツール関連情報13X1である）、参加メンバーの情報（参加メンバー情報13X2）、および関連するグループに関する情報（関連グループ情報13X3）がある。参加メンバー情報13X2は、グループXに参加登録している全会員のニックネーム等の情報を示すものであり、例えば、グループXに対応する所定のウェブページ（グループXの入り口ページ）上に設けられたグループメンバー一覧を表示するページ14へのハイパーリンク（S14）を選択することで閲覧することができる。関連グループ情報13X3は、例えば、グループXと同一カテゴリーに分類されている他のグループ名を示す情報であって、この情報に基づいて、グループXに対応するウェブページ（入り口ページ）上に関連するグループに対応するページへのリンク情報あるいはハイパーリンクを設けることが可能となっている。例えば、グループXの入り口ページ上に、同一カテゴリーに分類されているグループA、B、Cを一覧表示するページへのリンク先情報が設けられ、そのリンク先情報を利用して各グループの入り口ページ13A、13B、13Cへジャンプ（S17）できるようにすることができる。

【0019】メンバーリストページ14では、対応する各グループの全メンバーのニックネーム14a、14b、14c、…が選択可能なリンク先情報を伴うハイパーリンク情報として表示され、いずれかのニックネーム（例えばニックネーム14a）が選択された場合、そのニックネーム14aの会員に関する個人情報を表示するページ15が表示されるようになっている（S15）。個人情報を表示するページ15には、例えば会員登録時に入力した会員個人に関する情報のほか、その会員が所属する1または複数のグループ名を示す所属グループ情報15aが各グループの入り口ページをジャンプ先とするリンク情報を伴った選択可能なハイパーリンク情報として表示される。所属グループ情報15aとして表示されているグループ名（ここでは、グループA、B、C）のいずれかが選択された場合、選択されたグループの入り口ページ13A、13B、13Cのいずれかが表示される（S16）。なお、個人情報表示ページ15に表示される情報は、当該情報の登録時に公開・非公開を設定できるようにしている。

【0020】また、ウェブサイト1では、個人情報の所属グループ15aからのリンク（S16）の回数と、特定グループ13Xから関連グループへのリンク（S17）の回数とを、リンク先の各グループに対応付けてカウントする処理（S18）を行うとともに、カウント数に対応してグループの入り口ページ等に表示する広告情報の内容を設定・変更する処理（S19）を行うようにしている。これによってアクセス数に応じた広告情報の

ウェブサイト内の適切な配分が可能となる。

【0021】なお、ウェブサイト1は、コンピュータと、通信装置等の各種周辺機器と、そのコンピュータによって実行されるソフトウェアプログラムとによって実現することができる。ウェブサイト1はまた、登録会員の情報を記録管理するためのデータベース（DB）、会員がグループ登録時に会員毎にそのグループ名を関連付けて記憶する会員プロフィールDB、各機能の閲覧ページに参加した会員名を該ページ上に保持する手段（BBS（電子掲示板）、チャット、所定テーマへの投票等の各種ツール）によって扱われる情報を記録するためのDB等を備えている。なお、上記ウェブサイト1内で実行されるソフトウェアプログラムは、コンピュータ読み取り可能な記憶媒体あるいは通信回線を介して配布することが可能である。

【0022】次に、図2に示すツール関連情報13X1を利用して各グループ間で情報のリンクを行う方法の具体例について、図3～図8を参照して説明する。図3は、ウェブサイト1からユーザー側端末2あるいは3へ提供されるページ情報と、各ページ間のリンク関係（矢印で示す）を示す説明図である。図4～図8は、図3に示すページ情報をユーザー側のWWWブラウザで表示した場合の表示状態を示す模式図である。図3では、グループ名が「推理小説を書いてみませんか？」であるグループにすでに参加登録済みの1ユーザー（登録会員）が、ウェブサイト1への所定のログイン処理を完了した後、グループ「推理小説を書いてみませんか？」に対応するページ（入り口ページ又は第1の表示情報）31（図2の情報13Xに対応）を閲覧している状態から、ウェブサイト1によって提供される他の各ページへアクセスする場合のリンクの経路を示している。ページ31をユーザー側の端末2あるいは3で表示した場合の表示例を図4に示す。

【0023】図3および図4に示すように、ページ31には、そのページにアクセスしているユーザーが、そのページに対応するグループにメンバー登録済みであることを示す表示31aと、グループ名（「推理小説を書いてみませんか？」）を示す表示31bと、画像や文字によって形成される広告情報31cと、メンバー一覧を示すページ32（図2のページ14）へのリンクのアンカー情報となるアンダーライン付きの文字情報31d（図2の情報13X2）と、当該グループで利用可能な各種ツールの利用ページへリンクのアンカーとなるアンダーライン付きの文字情報31e、31f、31g、31hの各情報が表示されるようになっている。ここで、アンカー情報とは、ハイパーリンクをする際に他のページへのリンクを示す文字、画像等の情報であって、WWWブラウザ40においてアンカー情報をクリックすることでリンク先のページが表示される処理（リンク先のページへジャンプする処理）が行われるようになっている。入

り口ページ31には、図4に示すように、さらに、他のグループへリンクする他のページへのリンク情報をカテゴリーの分類に対応した階層構造で示す関連グループ情報41（図2の情報13X3に対応）が含まれている。図4に示す関連グループ情報41では、当該グループ

「推理小説を書いてみませんか？」が、カテゴリーの最上位層「TOP」（トップ）の次の階層の「ブック」のその下の階層の「ホラー・ミステリー」のカテゴリーに分類されていることを示しており、また、各階層を示す文字列が、各階層に所属するグループ分類あるいはグルー

【0024】図4に示す例では、掲示板（電子掲示板）へのアンカー情報31eを掲示板の最終更新日時と総コメント数を示す文字列から構成し、投票機能へのアンカ

【0025】図3において、メンバー一覧表示ページ32へのリンク情報31dが選択された場合、メンバー一覧の表示ページ32（図2のページ14に対応）の表示情報（ハイパーテキスト）がウェブサイト1からユーザ側端末2あるいは3へと送信され、ユーザ側端末2あるいは3では、図5に示すようなページ情報32が、図4に示すWWWブラウザ40のウィンドウとは異なる別のウィンドウ40aに表示される（第2の過程）。メンバー一覧表示ページ32では、図5に示すように、グループ「推理小説を書いてみませんか？」の全登録メンバーのニックネームがリスト形式で一覧表示される（表示情報51）。表示情報51内の各メンバーのニックネームを示す文字列は、選択可能な各メンバーの個人情報を表示するページへのハイパーリンクのアンカー情報となっている。ここで、ニックネーム「飛雄馬」の文字列が選択された」とすると、選択されたメンバー「飛雄馬」が所属する（参加する）グループ一覧（この例では、グループ名31bに該当するグループを除く）の表示ページ3

3（図2の個人情報16に対応）の表示情報がウェブサイト1からユーザ側端末2あるいは3へと送信され、ユーザ側端末2あるいは3では、図6に示すようなページ情報33としてWWWブラウザ40に表示される（第3の過程）。

【0026】図6に示す表示ページ33には、選択されたメンバー「飛雄馬」が参加する全グループについて、グループ名と、各グループ内の電子掲示板のメッセージ登録件数（「BBS総件数」と）、チャット機能に参加しているメンバーの数（「Chat入室人数」と）がリスト形式の表示情報61として表示される。この場合、各グループのグループ名を示す文字列は、選択可能な各グループの入り口ページへのハイパーリンクのアンカー情報となっている。ここで、いまWWWブラウザ40を操作してアクセスしているユーザが参加していないグループであるグループ名「ざ さぼりまん」の文字列62が選択された」とすると、選択されたグループ「ざ さぼりまん」の入り口ページ（第2の表示情報）34（図3参照）へ表示先がジャンプして（図3のリンクL3）、グループ「ざ さぼりまん」の入り口ページ34の情報がWWWブラウザ40に表示される（第4の過程）。

【0027】図3に示すように、グループ「ざ さぼりまん」の入り口ページ34には、グループ「推理小説を書いてみませんか？」と同様に、グループ名「ざ さぼりまん」を示す情報34b、広告情報34c等の対応するグループに関連する他の各情報が表示される。ただし、この場合、アクセス中のユーザは、グループ「ざ さぼりまん」にメンバー登録されていない「ゲスト」ユーザーなので、グループの参加状態が「ゲスト」であることを示す情報34aが表示されることになる。グループ「ざ さぼりまん」に設定されている機能が、電子掲示板、チャット、投票の3つである」とすると、ツール関連情報（図2の13Xに対応）としては電子掲示板、チャット、投票の3つの機能を利用するためのページへの選択可能なリンク情報34iが表示される。さらに、グループ「ざ さぼりまん」に参加登録するためのページへのリンク情報34jも表示情報として含まれる。このリンク情報34jが選択された場合には、図示していないグループへの登録情報の入力ページへとジャンプすることになる。

【0028】以上のようにして、図3に示すメンバーの個人情報（メンバー個人のプロフィールの1つとしての所属グループに関する情報）を参照するページ33へのリンクを含む複数のリンクL1、L2、L3を経路とすることで、グループ「推理小説を書いてみませんか？」に関する情報から、同一ウェブサイト内に存在する他のグループである「ざ さぼりまん」に関する情報を検索することが可能となる。

【0029】次に、図3に示す各グループに設定される



掲示板、グループInfobox等の複数のユーザー間でメッセージを交換するためのツールを利用するためのページ35、36を介したリンク方法について説明する。まず、電子掲示板を利用する場合について説明する。グループ「推理小説を書いてみませんか?」の入り口ページ31において、掲示板へのリンク情報31cが選択された場合、掲示板機能を提供するページ35の表示情報がユーザー側へ送信される(リンクL4)。この場合、図示していない掲示板の発言項目の一覧表示のなかからグループ「推理小説を書いてみませんか?」のメンバーの一人であるニックネーム名「ロイエンタール」による発言の表示指示が選択されたとすると、ユーザー側のWWWブラウザ40には、図7に示すような表示情報35が表示される。図7は、図4に情報31eとして示すように、この時点で212個のコメント(メッセージ)を有する掲示板の情報の中の1つのコメントを選択、表示させた場合の表示状態の一例を示している。ここでは、コメントを示す情報71として、そのコメントのタイトル、発言者、日時、およびコメントの内容がまとめて表形式で示されていて、さらに、発言者のニックネームを示す文字列(「ロイエンタール」)が、図3に示す「ロイエンタール」の参加グループ状況を示すページ33へのリンク情報を有するアンカー情報72として用いられている。ここで、「ロイエンタール」のアンカー情報72が選択された場合、リンクL5によって、図6と同様の形式でメンバー「ロイエンタール」が参加しているグループ名の一覧を示す情報を表示するページがWWWブラウザ40に表示される。次に、他のグループへのリンク情報を有しているグループ名を示す文字列が選択されたとき(図6参照)、図3のリンクL3と同様に、選択された図示していない他のグループの入り口ページへリンクさせることが可能となる。

【0030】次に、グループInfoboxを利用する場合について説明する。図3および図4に示すグループ「推理小説を書いてみませんか?」の入り口ページ31において、グループInfoboxへのリンク情報31hが選択された場合、図3に示すグループInfoboxの閲覧あるいは新たなアイテムの登録するための機能を提供するページ36の表示情報がユーザー側へ送信される(リンクL6)。ここで、ユーザー側のWWWブラウザ40には、所定の操作を行うことで、例えば「オリジナル名探偵を創ろう」というテーマで登録されたコメント(メッセージ)の一つがリスト形式で図8に示すように表示される(情報81)。この場合、登録者名「yukinojoyo」を示す文字列が、「yukinojoyo」の参加グループ状況を示すページ33(図3参照)へのリンク情報を有するアンカー情報82として利用される。ここで、「yukinojoyo」のアンカー情報82が選択された場合、図6と同様の形式で、メンバー「yukinojoyo」が参加しているグループ名の一覧を示す情

報を表示するページが、WWWブラウザ40に表示される。そこで、他のグループへのリンク情報を有しているグループ名を示す文字列を選択することで、図3のリンクL3と同様に、選択された図示していない他のグループの入り口ページへジャンプすることが可能となる。

【0031】なお、図8に示す「ポイント:3.9」83は、投票機能を用いて入力された情報に基づいて自動的に作成された当該項目の支持率を示す指標を表している。

【0032】以上説明したように、図3に示す構成では、グループ単位の情報の表示ページ(メンバー一覧の表示ページ32、掲示板機能によるメッセージの表示ページ35、グループ単位で管理可能なデータベース機能の一つであるグループInfoboxのアイテム登録ページ36)から、各メンバーの個人情報を表示するページ(参加グループ状況の閲覧ページ33、33、33、...)へリンクを張ることで、異なったグループ間の情報に閉じたループを構成可能な複数のリンクを形成することが可能となっている。より具体的には、図3の例によれば、異なった2つのグループ、グループ「推理小説を書いてみませんか?」とグループ「ざ さぼりーまん」との間に、個人情報を表示するページ(参加グループ状況の閲覧ページ33)を介在させたリンクを設けることができ、さらに、図示していない他のグループのページへのリンクを同様に形成することが可能であることが説明される。

【0033】上記実施形態によれば、図3に示すようなリンクの構成によるループを経ることで同一サイトの滞在時間を増加させることができ、サイトの運営上一定の効果を達成することができる。また、サイト自体の魅力を向上させ、各ページに張り付ける広告の効果を向上させることができる。また、ループの中でアクセスの多いページが判明されるので、その結果に応じて広告を貼り付ければ、より一層の広告効果の向上を期待することができる。また、リンク回数の多いページのカテゴリー(ページの内容(趣味等))に応じてそれをターゲットとする広告を貼ることも可能となる。また、各ユーザーは、興味を持った他人のプロフィール(個人情報)を見ることで、新たな情報を得ることも可能であり、従来よりもより多くの情報を容易に得ることが可能になる。

【0034】なお、本発明の実施の形態は、上記のものに限定されることなく、本発明の構成上の特徴を有するものであれば、メッセージの交換手段や、ウェブサイトへのアクセス方法は、適宜変更可能である。上記実施形態の構成の特徴およびその変形例の一例をまとめると次のようになる。会員が一定のテンプレート(同じインターフェースを持つ)でグループを作成又はグループに登録し、各機能ページにも会員情報が保持されるようになっているから(同一サイト内であるから)、サイト内に閉じた情報リンクのループを形成することができる。特

に、プロフィールDBがループの仲介をしていることが主要な特徴の一つである。また、ループをつくる各機能への参加は、会員のみ限定しているが、閲覧は非会員でも可能としている。なお、会員名の代わりに所定のボタン（「この人のプロフィールへ」などを表示するボタン）を設けることで、リンクを形成するようにしてもよい。また、会員が参加するグループ、機能から会員名を非公開にする選択も可能となっている。

【0035】さらに、機能上の特徴をまとめると次のようになる。本発明によるシステムは、ユーザー自身のグループ所属情報（図3の記号33に相当）を公開することで、再度他のグループへのジャンプを可能とし、結果的にサイト内でのループを可能とするシステムである。ここで、所属グループ登録機能として、所属グループを作成もしくは所属した場合、その所属情報をリレーショナルもしくは個人DBに登録し、一覧として表示できる機能を設けるとともに、グループ機能内の掲示板、投票機能等のツールとして、各エンドユーザーが投票、掲示板等アクションを起こせる機能を設けている。さらに、個人情報作成機能として、会員ユーザーに対して、公開非公開を決定できる個人情報登録機能を提供し、アクション発生時に個人名と個人情報リンクを自動生成する機能として、各ユーザを認識し、アクション時に自動的に個人情報ページと名前をリンクさせる機能を提供している。

【0036】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、電子掲示板、チャット等の複数ユーザ間で情報を交換するための通信機能を提供するウェブサイトにおいて、グループ単位で情報を提供する際に、グループの各構成メンバーに対応する情報を提供することによって、従来に比べ、個々のユーザーに関連するより多くの情報を提供することが可能となり、さらにウェブサイト内でのリンク

回数が増加するので、ウェブサイトにおけるアクセス数やアクセス時間の増加をより大きく図ることが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によるウェブサイトの情報リンクシステムを含むネットワークの全体構成を示すブロック図

【図2】本発明によるウェブサイトの情報リンクシステムの機能および情報の流れを示すシステムフロー図

【図3】本発明によるウェブサイトの情報リンクシステムにおける各ページ情報のリンク経路を示す説明図

【図4】図3のページ情報31のWWWブラウザ上の表示例を示す図

【図5】図3のページ情報32のWWWブラウザ上の表示例を示す図

【図6】図3のページ情報33のWWWブラウザ上の表示例を示す図

【図7】図3のページ情報35のWWWブラウザ上の表示例を示す図

【図8】図3のページ情報36のWWWブラウザ上の表示例を示す図

【図9】図2のウェブサイトの情報リンクシステムにおけるグループ登録用のテンプレートの一例を示す図

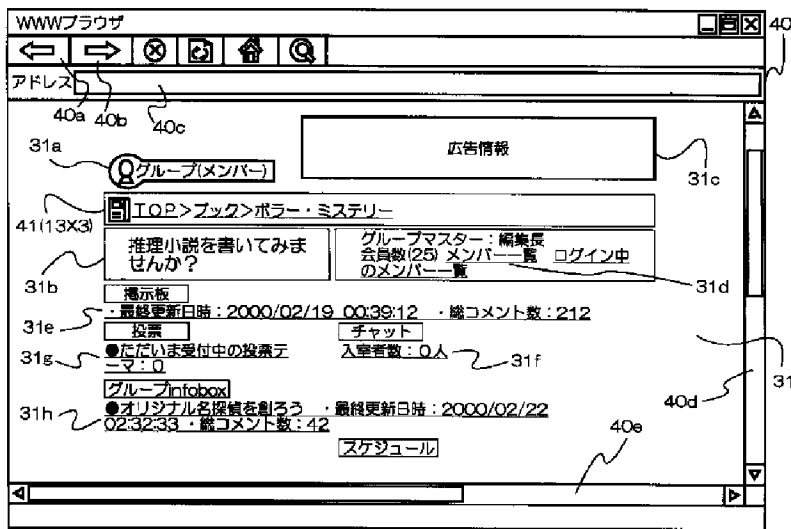
【図10】図2のウェブサイトの情報リンクシステムにおけるグループ登録用のテンプレートの一例を示す図

【符号の説明】

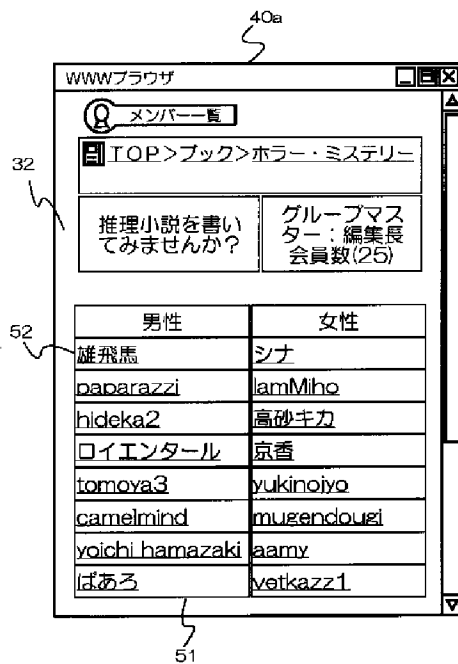
- 1 ウェブサイト
- 2 携帯端末
- 3 加入者端末
- 14 グループメンバー一覧を表示するページ
- 15 個人情報を表示するページ
- 31 第1の表示情報
- 34 第2の表示情報
- 100 インターネット



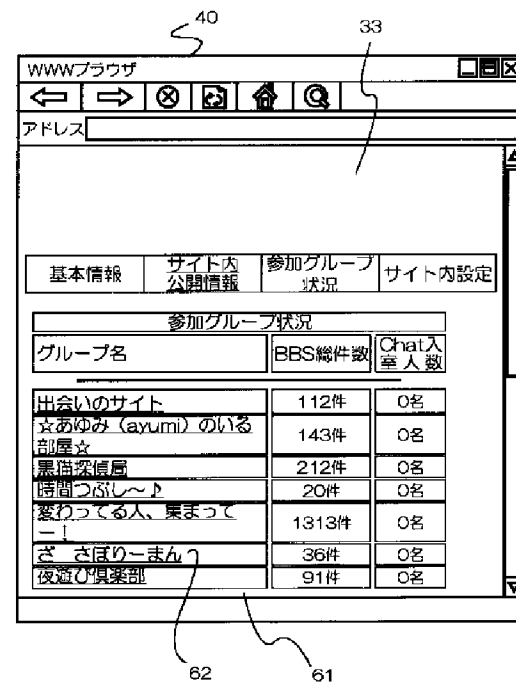
【図4】



【図5】



【図6】



【図7】

【図8】

【図9】

【図10】

2. グループで使用できるツールを選択

使用ツール	グループメンバー以外への制限
<input checked="" type="checkbox"/> 掲示板 101	<input type="radio"/> 非公開 <input checked="" type="radio"/> 閲覧のみ 102
<input checked="" type="checkbox"/> チャット 103	<input type="radio"/> 非公開 <input checked="" type="radio"/> 閲覧のみ 104
<input type="checkbox"/> スケジュール 105	<input checked="" type="radio"/> 非公開 <input type="radio"/> 閲覧のみ 106
<input type="checkbox"/> グループ infobox 107	<input type="radio"/> 非公開 <input checked="" type="radio"/> 閲覧のみ 108
<input type="checkbox"/> 投票 109	投票テーマごとに設定できます。

3. グループのPRやコメントを設定

PR

コメント

110

111

112 OK 113 キャンセル

12